

特集

予算審査 令和8年度予算可決!

令和8年度予算とその関連議案については、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（委員長：大本和英／副委員長：山根基嗣）を設置し、3月9日から13日までの期間にわたって審査を行いました。

審査の結果は、3月19日の本会議で報告し、討論、採決の結果、付託を受けた議案すべてを原案のとおり可決しました。

令和8年度予算 (※1万円未満四捨五入)

一般会計	677億1,000万円
特別会計(8会計)	354億7,662万円
企業会計(3会計)	270億4,663万円
総 額	1,302億3,325万円

予算審査

予算全般

問 ここ10年で出生数が半減している。今後どういった考えで人口減少に向き合っていくのか。

答 各自治体において様々な取組が進められているが、人口減少につながっている。そういう中で、新しい形の自治体に求められるのは、尾道であれば、例えば備後圏域での助け合いといった水平思考型の連携を進めることである。また、県が自治体の支援を進めていく方策を国においても検討していることについて、市は意識して取り組んでいくことが必要だと考える。

一般会計
歳入

歳 入

問 個人市民税の納税義務者数及び所得見込額は。

答 令和8年度の納税義務者数及び所得見込額は、給与所得者4万6,130人で所得見込は1,653億6,000万円、年金所得者1万4,977人で所得見込は206億7,000万円、その他事業所得者2,584人で231億円を見込んでいる。

一般会計
歳出

総 務

問 協働のまちづくりアドバイザーの職務について伺う。

答 町内会役員の担い手不足、高齢化等いろいろ課題がある中で、今後の地域の在り方、持続可能な地域コミュニティづくりの専門家による訪問を進めている。現在は公民館を中心に地域の場づくりのため訪問している。

問 尾道市過疎地域持続的発展計画と立地適正化計画の関係性は。

答 持続的なまちづくりという観点では両計画とも同じ目的を持っていると思っている。コンパクトシティの考え方に基づいて、必要なインフラやソフト事業を考える中で、連携して進めていく。

一般会計
歳出

民生

問 屋内子ども広場等整備事業の概要は。

答 子どもが天候や気温にかかわらず遊べる施設を尾道駅前再開発ビル地階に設置するもの。利用料は無料の予定、遊具の配置や駐車場等については、市民の提案や今後の利用状況も考えながら検討する。

問 子どもの居場所づくり事業・食品提供体制づくり事業の補助制度は。

答 子ども食堂の開設費、運営費について、対象経費の3分の2、10万円を上限に補助をしている。その他、フードドライブや寄付いただいた食材を分けるなどして、補助以外にも援助をしている。

一般会計
歳出

衛生

問 自殺対策に対する市とその他関係機関との協力体制について伺う。

答 尾道市では尾道市自殺対策推進委員会を設置しており、教育委員会や医師会、警察、保健所、弁護士会、社会福祉協議会など様々な関係する機関で構成され、自殺対策基本法や取組など情報共有を行い、連携を図っている。

一般会計
歳出

農林・水産

問 全体予算から見た農林水産業費割合の過不足感について伺う。

答 職員が現場に出て農業者の話を聞きながら、JAと連携し、技術指導の支援も必要かと思っている。予算の中でしっかりと取り組みたい。

一般会計
歳出

商工

問 ナイトタイムエコノミーについて、観光客満足度の向上や把握の計画は。

答 満足度の向上についてはアンケートの実施も含めどのように把握していくのがよいか検討していく。また、尾道商業高校の生徒がデジタルマップの研究をしており、若い方の感性を生かした取り組みもできればと考えている。

一般会計
歳出

土木

問 東尾道黒崎水路緑地整備事業について、トイレ設置の計画は。

答 現在、トイレ設置の計画はない。河川の内部になっているためなかなか施設の設置が難しいが、地元の強い要望であるということは受け止める。

問 森金江奥線第2工区の道路整備予定は。

答 合併後それぞれ必要な道路については計画的に取り組みをしてきている。森金江奥線第2工区は向東にとって必要な道路だということは認識しているので、今後いろ

んな角度から検討していきたい。

一般会計
歳出

消 防

問 消防団器具庫の今後の整備予定は。

答 新耐震基準が満たされていない器具庫が現在4棟あり、令和8年度に3棟、令和9年度に1棟を建て替える計画としており、令和9年度で整備完了の予定である。

一般会計
歳出

教 育

問 尾道市学校給食センターはなぜ直営ではないのか。

答 民間活力の活用により効率的な運営を目指すということで、民間委託を導入している。また災害時の協力体制をプロポーザルの条件としている。

問 小中学校屋内運動場空調整備事業の整備スケジュール及び財源は。

答 整備のスケジュールについては令和8年度に基本計画を策定し明らかにしていきたいと考えている。屋内運動場の空調設備整備事業は国の補助金が令和15年度までであり、これを最大限活用していきたい。

国民健康保険事業特別会計

問 子ども・子育て支援金とはどのような制度か。

答 令和8年度から、子育て世帯を支える新しい分かち合い連帯の仕組みとして創設される制度であり、全世代が支援金を負担をする仕組みで、児童手当の拡充やこども誰でも通園制度等に使用される。

介護保険事業特別会計

問 居宅介護福祉用具購入費について、利用者負担分の在り方の検討は。

答 現状、居宅介護福祉用具購入費は購入者本人が一時的に全額負担をしているが、福祉用具を先に尾道市が購入してから本人負担をする、いわゆる受領委任払いについては、業務手順など様々な研究を行っており、前向きに検討している。

水道事業会計

問 水道事業管理者の官製談合防止法違反について、市長としての任命責任の思い及び内部調査の方法は。

答 任命責任者としては、大変大きな責任は感じている。内部調査については、総務部の職員が水道局職員全員に聞き取り調査を行っている。

病院事業会計

問 尾道市立市民病院の医師不足及びコスト上昇に対して、尾道市としてできる方策等はあるか。

答 医師確保については地方病院共通の課題であり、尾道市としては岡山大学や広島大学等の医局へ訪問し、医師の派遣や継続をお願いしている。コスト面については、入院料の改定や変更、人員の適正化、業務の民間委託や直営化等、コストの削減及び経費効率化を目指していきたい。